

各位

【スタンダードコース】

ファルクラム 第78回 租税法研究会



～固定資産税における適正な時価・短期前払費用と重要性の原則～

固定資産税における適正な時価の意義をご存知でしょうか。第1部では最高裁平成15年6月26日第一小法廷判決を素材とし、固定資産税の性質及びその適正な時価の意義を、本判決がどのように位置づけているかを学んでいきます。また、第2部では浚渫業における傭船料が法基通2-2-14後段に掲げられている短期の前払費用に該当するか否かが争われた事案である福岡高裁平成12年12月15日判決をもとにディスカッションを行います。

- ◆日時：令和元年9月14日(土) 13:30～16:00
 - ◆お試し参加：無料(※1事務所につき1回のみ無料でご参加いただけます。)
 - ◆受講料：会員…月会費15,000円(スタンダードコース) 一般…30,000円
 - ◆会場：都内会場を予定(会場の詳細については事務局までお問い合わせください。)
- (事務局 TEL:042-806-9843 e-mail: jimu@ful-crum.info)

★本研究会は研修細則2条(7)の「その他の研修」として18時間まで税理士会への申請が可能です。
なお、必ずしも認定を保証するものではないことをご了承ください。

講師：ファルクラム代表理事 中央大学商学部教授 酒井 克彦

【内容】

- 第1部：固定資産税における適正な時価—最高裁平成15年6月26日第一小法廷判決・民集57巻6号723頁—
- 第2部：浚渫業における傭船料の損金性—福岡高裁平成12年12月15日判決・税資249号1133頁—(当研究所代表理事：酒井克彦)

第2部では、グループ討議によるディスカッションを実施します。

◆主催：一般社団法人ファルクラム
(HPをご覧ください <http://fulcrumtax.net/>)
所在地：〒185-0033 国分寺市内藤1-25-1 B号

【次回のご案内】 ファルクラム第79回租税法研究会

- ◆日時・場所：令和元年10月19日(土) 都内会場
- ◆テーマ：未定

研究員(会員事務所)募集

(DVD会員・YouTube会員の募集)

租税法研究会とは：

租税法研究会は、いわば大学院のゼミのようなスタイルで、会員と講師(酒井克彦教授)により行われる裁判例を素材にした発表を基に、会員と講師を交えてディスカッションをしながら、実務家としてどう考え、対処すべきかという視点で理論的・実務的に検討を行う研究会です。条文・判例の読み方、法律的主張の構成を学び、リーガルマインドの養成を図ります。(初回登録料5万円、月会費1.5万円)

会員特典(一部のご紹介)：

- ★租税法研究会の無料参加(年8回開催)
- ★公開セミナーの無料参加(昨年3回開催)
- ★毎月1回の学習用講義DVD(酒井克彦教授のオリジナル講義DVD。50分程度。YouTube視聴の方には10分程度の特典映像が付きます。)
- ★租税法研究会欠席時のDVD無料送付

通信ファルクラム制度のご紹介：

- ★租税法研究会・学習用講義をDVD又はYouTubeで受講する制度です。詳細については事務局までお問い合わせください。
- DVD会員：初回登録料5万円、月会費1.5万円
- YouTube会員：初回登録料1万円、月会費1万円

◆お申込方法 以下の必要事項をご記入の上、下記申込URL・右QRコードあるいはFAXにてご返信ください。

<http://bit.ly/78sta-yes>

ご芳名		事務所名	
ご住所	会員の方はご芳名・TEL・参加者名のための記載で結構です。		
TEL		FAX	
E-mail		お試し参加希望	<input type="checkbox"/> (Vチェック)
参加者名			



お問い合わせ：一般社団法人ファルクラム (E-mail: jimu@ful-crum.info) 042-806-9843 (9～17時) 土日祝除く



お申込みFAX番号:042-806-9844(随時受付)

<送信前にFAX番号を再度、ご確認ください。>